通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド
－イーグルアイⅡ－
予想分配金提示型
日本円・コース／豪ドル・コース／ブラジル・レアル・コース／米ドル・コース／通貨セレクト・コース

運用報告書（全体版）

第22期（決算日　2019年２月28日）
第23期（決算日　2019年５月28日）
（作成対象期間　2018年11月29日～2019年５月28日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託
Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL　０１２０－１０６２１２
（営業日の９：00～17：00）
https://www.daiwa-am.co.jp/

<5770>
<5771>
<5772>
<5773>
<5774>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	約10年間（2013年８月20日～2023年８月28日）
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ．ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／ハリス ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（※１）」（以下「ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（※１）」といいます。）の受益証券（円建） ロ．ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券 （※１）は、以下の各コースにおいて、次のように読み替えるものとします。 「日本円・コース」の場合……日本円・クラス 「豪ドル・コース」の場合……豪ドル・クラス 「ブラジル・レアル・コース」の場合……ブラジル・レアル・クラス 「米ドル・コース」の場合……米ドル・クラス 「通貨セレクト・コース」の場合……通貨セレクト・クラス
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、分配対象額の範囲内で、下記イ．およびロ．に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。 イ．計算期末の前営業日の基準価額（１万口当り。既払分配金を加算しません。）が10,500円未満の場合、原則として、主要投資対象とする外国投資信託における配当収入等相当分から経費（外国投資信託の経費を含みます。）を控除した額を分配することをめざします。 ロ．計算期末の前営業日の基準価額が10,500円以上の場合、原則として、当該基準価額に応じ、下記の金額（１万口当り）を分配することをめざします。 ａ．10,500円以上11,000円未満の場合…300円 ｂ．11,000円以上11,500円未満の場合…350円 ｃ．11,500円以上12,000円未満の場合…400円 ｄ．12,000円以上12,500円未満の場合…450円 ｅ．12,500円以上の場合……500円 なお、計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等には、上記の分配を行なわないことがあります。

日本円・コース

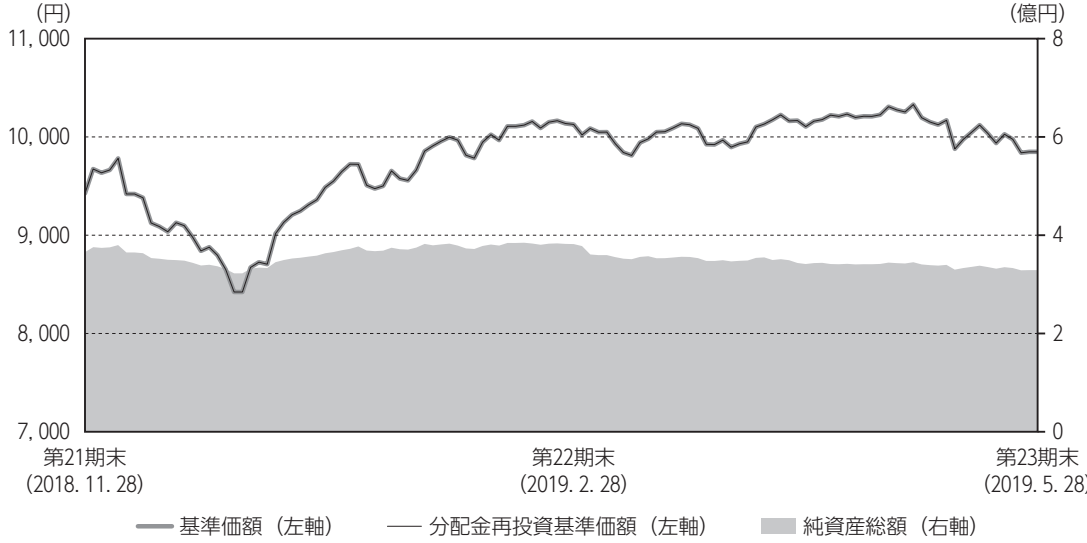
最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S＆P500指数（米ドルベース）		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
14期末（2017年２月28日）	10,731	350	9.3	14,396	7.1	0.1	97.9	672
15期末（2017年５月29日）	10,559	300	1.2	14,676	1.9	0.0	97.3	622
16期末（2017年８月28日）	10,546	300	2.7	14,842	1.1	—	97.4	564
17期末（2017年11月28日）	10,445	300	1.9	15,804	6.5	—	97.8	527
18期末（2018年２月28日）	10,700	350	5.8	16,672	5.5	0.0	97.8	432
19期末（2018年５月28日）	10,245	0	△ 4.3	16,532	△ 0.8	—	95.2	413
20期末（2018年８月28日）	10,512	300	5.5	17,598	6.4	—	97.9	423
21期末（2018年11月28日）	9,426	0	△ 10.3	16,294	△ 7.4	—	98.7	365
22期末（2019年２月28日）	10,127	0	7.4	16,964	4.1	—	95.5	381
23期末（2019年５月28日）	9,849	0	△ 2.7	17,169	1.2	—	94.9	328

（注１）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注２）Ｓ＆Ｐ500指数（米ドルベース）は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。Ｓ＆Ｐ500指数（米ドルベース）の所有権およびその他一切の権利は、Ｓ＆Ｐ Dow Jones Indices LLC が有しています。Ｓ＆Ｐ Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
（注３）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注４）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
（注５）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注６）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

運用経過

基準価額等の推移について



＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第22期首：9,426円
第23期末：9,849円（既払分配金０円）
騰　落　率：4.5％（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

米国株式市況が上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

	年　月　日	基準価額		S＆P500指数(米ドルベース)		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率
			騰落率	(参考指数)	騰落率		
		円	%		%	%	%
第22期	(期首)2018年11月28日	9,426	—	16,294	—	—	98.7
	11月末	9,635	2.2	16,632	2.1	—	98.6
	12月末	8,725	△ 7.4	15,120	△ 7.2	—	98.9
	2019年1月末	9,663	2.5	16,288	△ 0.0	—	98.9
	(期末)2019年2月28日	10,127	7.4	16,964	4.1	—	95.5
第23期	(期首)2019年2月28日	10,127	—	16,964	—	—	95.5
	3月末	9,930	△ 1.9	17,104	0.8	—	98.3
	4月末	10,254	1.3	17,777	4.8	—	98.5
	(期末)2019年5月28日	9,849	△ 2.7	17,169	1.2	—	94.9

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2018. 11. 29 ～ 2019. 5. 28）

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首から2018年12月にかけて、世界的な景気減速懸念や米国の政府機関が一部閉鎖されたことなどを受けて下落しました。2019年に入ると、ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）が今後の利上げについて慎重な姿勢を示したことや米中通商協議の進展期待などが支援材料となり、４月にかけて上昇基調で推移しました。しかし５月以降は、米中貿易摩擦の長期化懸念などから、当作成期末にかけて下落基調で推移しました。

■短期金利市況

日銀は、金融緩和策を継続し、短期金利はマイナス圏で推移しました。

米国では、2018年12月に利上げを実施し、政策金利の誘導目標レンジを2. 00～2. 25％から2. 25～2. 50％に引き上げました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

今後も、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）：ダイワ・プレミアム・トラスト－ダイワ／ハリス ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／日本円買いの為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

ポートフォリオについて

（2018. 11. 29 ～ 2019. 5. 28）

■当ファンド

当ファンドは、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）への投資割合は、信託財産の純資産総額の95％程度以上とすることをめざしました。

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）

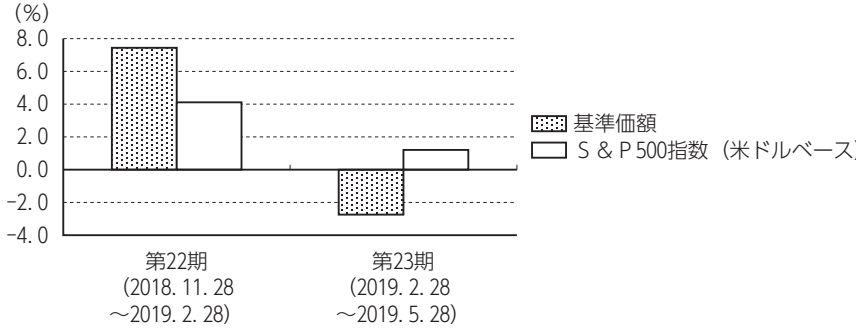
ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）の受益証券においては、株式組入比率をおおむね90％以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。引き続き、財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、コミュニケーション・サービスや金融を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET（コミュニケーション・サービス）、HILTON WORLDWIDE HOLDINGS（一般消費財・サービス）、CHARTER COMMUNICATIONS（コミュニケーション・サービス）などを高位で組み入れました。また、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／日本円買いの為替ヘッジを行いました。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、分配方針通り、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項　　目		第22期 2018年11月29日 ～2019年２月28日	第23期 2019年３月１日 ～2019年５月28日
当期分配金（税込み）	**(円)**	**—**	**—**
対基準価額比率	(%)	—	—
当期の収益	(円)	—	—
当期の収益以外	(円)	—	—
翌期繰越分配対象額	(円)	661	661

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■当ファンド

今後も、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／日本円買いの為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項　　目	第22期～第23期 (2018. 11. 29～2019. 5. 28)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	59円	0. 602%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は9, 784円です。**
(投 信 会 社)	(21)	(0. 214)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(37)	(0. 375)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ　の　他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合　　計	59	0. 606	

(注１) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
(注２) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
(注３) 各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
(注４) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

（2018年11月29日から2019年５月28日まで）

決　算　期	第　22　期　～　第　23　期			
	買　　付		売　　付	
	口　　数	金　　額	口　　数	金　　額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	29.57945	4,000	505.80402	72,000

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

（2018年11月29日から2019年５月28日まで）

第　22　期　～　第　23　期							
買　付				売　付			
銘　　柄	口　数	金　額	平均単価	銘　　柄	口　数	金　額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
US CONCENTRATED CAYMAN JPY CLASS（ケイマン諸島）	29.57945	4,000	135	US CONCENTRATED CAYMAN JPY CLASS（ケイマン諸島）	505.80402	72,000	142

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1)当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2)ダイワ・マネーストック・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

（2018年11月29日から2019年５月28日まで）

決 算 期	第　22　期　～　第　23　期					
区　　分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	250	250	100.0	—	—	—
コール・ローン	5,385,605	—	—	—	—	—

（注）平均保有割合0.0％
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3)当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人であり、当作成期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1)ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第　23　期　末		
	口　数	評価額	比　率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） US CONCENTRATED CAYMAN JPY CLASS	2,220.92576	312,302	94.9

（注１）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注２）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種　　類	第21期末	第　23　期　末	
	口　数	口　数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	300	300	300

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年５月28日現在

項　　目	第　23　期　末	
	評　価　額	比　　率
	千円	%
投資信託受益証券	312, 302	94. 6
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	300	0. 1
コール・ローン等、その他	17, 360	5. 3
投資信託財産総額	329, 963	100. 0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2019年２月28日）、（2019年５月28日）現在

項　　目	第22期末	第23期末
（A）資産	**383, 036, 909円**	**329, 963, 761円**
コール・ローン等	17, 920, 907	17, 360, 810
投資信託受益証券（評価額）	364, 815, 129	312, 302, 138
ダイワ・マネーストック・マザーファンド（評価額）	300, 873	300, 813
（B）負債	**1, 113, 974**	**1, 040, 574**
未払信託報酬	1, 106, 626	1, 026, 351
その他未払費用	7, 348	14, 223
（C）純資産総額（A－B）	**381, 922, 935**	**328, 923, 187**
元本	377, 124, 257	333, 962, 602
次期繰越損益金	4, 798, 678	△ 5, 039, 415
（D）受益権総口数	**377, 124, 257口**	**333, 962, 602口**
1万口当り基準価額（C／D）	**10, 127円**	**9, 849円**

＊第21期末における元本額は387, 831, 049円、当作成期間（第22期～第23期）中における追加設定元本額は6, 096, 168円、同解約元本額は59, 964, 615円です。
＊第23期末の計算口数当りの純資産額は9, 849円です。
＊第23期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は5, 039, 415円です。

■損益の状況

第22期　自 2018年11月29日　至 2019年２月28日
第23期　自 2019年３月１日　至 2019年５月28日

項　　目	第22期	第23期
（A）配当等収益	**△ 575円**	**△ 984円**
受取利息	11	36
支払利息	△ 586	△ 1, 020
（B）有価証券売買損益	**27, 417, 191**	**△ 8, 253, 845**
売買益	28, 206, 136	342, 209
売買損	△ 788, 945	△ 8, 596, 054
（C）信託報酬等	**△ 1, 114, 441**	**△ 1, 033, 429**
（D）当期損益金（A＋B＋C）	**26, 302, 175**	**△ 9, 288, 258**
（E）前期繰越損益金	**△ 24, 345, 047**	**1, 731, 656**
（F）追加信託差損益金	**2, 841, 550**	**2, 517, 187**
（配当等相当額）	(9, 023, 306)	(8, 002, 605)
（売買損益相当額）	(△ 6, 181, 756)	(△ 5, 485, 418)
（G）合計（D＋E＋F）	**4, 798, 678**	**△ 5, 039, 415**
次期繰越損益金（G）	**4, 798, 678**	**△ 5, 039, 415**
追加信託差損益金	2, 841, 550	2, 517, 187
（配当等相当額）	(9, 023, 306)	(8, 002, 605)
（売買損益相当額）	(△ 6, 181, 756)	(△ 5, 485, 418)
分配準備積立金	15, 930, 437	14, 095, 174
繰越損益金	△ 13, 973, 309	△ 21, 651, 776

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	第22期	第23期
（a）経費控除後の配当等収益	0円	0円
（b）経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
（c）収益調整金	9, 023, 306	8, 002, 605
（d）分配準備積立金	15, 930, 437	14, 095, 174
（e）当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	24, 953, 743	22, 097, 779
（f）分配金	0	0
（g）翌期繰越分配対象額（e－f）	24, 953, 743	22, 097, 779
（h）受益権総口数	377, 124, 257口	333, 962, 602口

当ファンドは少額投資非課税制度「ＮＩＳＡ（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアＮＩＳＡ」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

豪ドル・コース

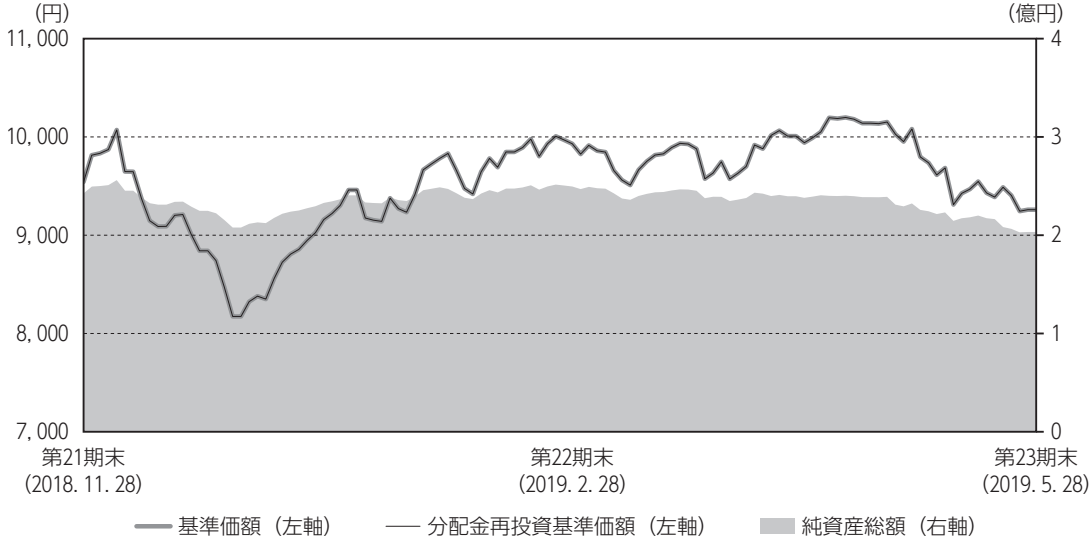
最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S＆P500指数(米ドルベース)		豪ドル為替レート		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
14期末(2017年2月28日)	10,457	300	12.8	14,396	7.1	86.37	3.3	0.0	97.3	421
15期末(2017年5月29日)	10,220	0	△ 2.3	14,676	1.9	82.86	△ 4.1	0.0	94.2	378
16期末(2017年8月28日)	10,719	300	7.8	14,842	1.1	86.68	4.6	—	97.3	336
17期末(2017年11月28日)	10,406	300	△ 0.1	15,804	6.5	84.46	△ 2.6	—	98.0	296
18期末(2018年2月28日)	10,627	350	5.5	16,672	5.5	83.66	△ 0.9	0.0	98.0	290
19期末(2018年5月28日)	10,046	0	△ 5.5	16,532	△ 0.8	82.80	△ 1.0	—	95.5	265
20期末(2018年8月28日)	10,522	0	4.7	17,598	6.4	81.75	△ 1.3	—	96.0	265
21期末(2018年11月28日)	9,542	0	△ 9.3	16,294	△ 7.4	82.26	0.6	—	98.7	242
22期末(2019年2月28日)	9,930	0	4.1	16,964	4.1	79.34	△ 3.5	—	99.0	249
23期末(2019年5月28日)	9,260	0	△ 6.7	17,169	1.2	75.88	△ 4.4	—	95.6	203

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注2）S＆P500指数（米ドルベース）は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S＆P500指数（米ドルベース）の所有権およびその他一切の権利は、S＆P Dow Jones Indices LLCが有しています。S＆P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
（注3）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注4）為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。
（注5）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
（注6）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注7）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

運用経過

基準価額等の推移について



＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第22期首：9,542円
第23期末：9,260円（既払分配金０円）
騰　落　率：△3.0％（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

米国株式市況が上昇したことなどがプラス要因となった一方、豪ドルが対円で下落したことなどがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

	年　月　日	基準価額		S&P500指数(米ドルベース)		豪ドル為替レート		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率
			騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
		円	%		%	円	%	%	%
第22期	(期首)2018年11月28日	9,542	—	16,294	—	82.26	—	—	98.7
	11月末	9,834	3.1	16,632	2.1	83.08	1.0	—	98.7
	12月末	8,379	△12.2	15,120	△ 7.2	78.18	△ 5.0	—	98.6
	2019年1月末	9,412	△ 1.4	16,288	△ 0.0	78.96	△ 4.0	—	98.9
	(期末)2019年2月28日	9,930	4.1	16,964	4.1	79.34	△ 3.5	—	99.0
第23期	(期首)2019年2月28日	9,930	—	16,964	—	79.34	—	—	99.0
	3月末	9,631	△ 3.0	17,104	0.8	78.64	△ 0.9	—	98.9
	4月末	9,953	0.2	17,777	4.8	78.41	△ 1.2	—	98.9
	(期末)2019年5月28日	9,260	△ 6.7	17,169	1.2	75.88	△ 4.4	—	95.6

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2018. 11. 29 ～ 2019. 5. 28）

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首から2018年12月にかけて、世界的な景気減速懸念や米国の政府機関が一部閉鎖されたことなどを受けて下落しました。2019年に入ると、ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）が今後の利上げについて慎重な姿勢を示したことや米中通商協議の進展期待などが支援材料となり、４月にかけて上昇基調で推移しました。しかし５月以降は、米中貿易摩擦の長期化懸念などから、当作成期末にかけて下落基調で推移しました。

■為替相場

豪ドルは対円で下落しました。

豪ドル対円為替相場は、当作成期首から2018年12月にかけて、株価や原油価格の下落から市場のリスク回避姿勢が強まったことやオーストラリアのＧＤＰ（国内総生産）が市場予想を下回ったことなどから、下落しました。2019年に入ると、市場のリスク選好姿勢が回復したことなどから上昇しましたが、４月半ば以降は、米中貿易摩擦の長期化懸念やＲＢＡ（オーストラリア準備銀行）の利下げ観測が強まったことなどから、下落しました。

■短期金利市況

ＲＢＡ（オーストラリア準備銀行）は、政策金利を1. 50％で据え置きました。

米国では、2018年12月に利上げを実施し、政策金利の誘導目標レンジを2. 00～2. 25％から2. 25～2. 50％に引き上げました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

今後も、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）：ダイワ・プレミアム・トラスト－ダイワ／ハリス ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

ポートフォリオについて

（2018. 11. 29 ～ 2019. 5. 28）

■当ファンド

当ファンドは、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）への投資割合は、信託財産の純資産総額の95％程度以上とすることをめざしました。

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）

ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）の受益証券においては、株式組入比率をおおむね90％以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。引き続き、財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、コミュニ

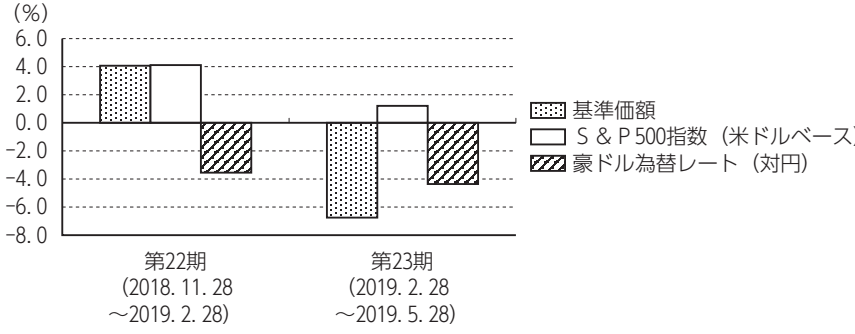
ケーション・サービスや金融を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET（コミュニケーション・サービス）、HILTON WORLDWIDE HOLDINGS（一般消費財・サービス）、CHARTER COMMUNICATIONS（コミュニケーション・サービス）などを高位で組み入れました。また、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を行いました。

■**ダイワ・マネーストック・マザーファンド**

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、分配方針通り、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項　　目		第22期 2018年11月29日 ～2019年２月28日	第23期 2019年３月１日 ～2019年５月28日
当期分配金（税込み）	**（円）**	**―**	**―**
対基準価額比率	（%）	―	―
当期の収益	（円）	―	―
当期の収益以外	（円）	―	―
翌期繰越分配対象額	（円）	934	934

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■当ファンド

今後も、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項　　目	第22期～第23期 (2018. 11. 29～2019. 5. 28)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	57円	0. 602%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は9, 550円です。**
(投 信 会 社)	(20)	(0. 214)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(36)	(0. 375)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ　の　他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合　　計	58	0. 606	

(注１) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
(注２) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
(注３) 各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
(注４) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

（2018年11月29日から2019年５月28日まで）

決　算　期	第　22　期　～　第　23　期			
	買　　付		売　　付	
	口　　数	金　　額	口　　数	金　　額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	5.53253	642	350.41526	41,000

（注１）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注２）金額は受渡し代金。
（注３）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

（2018年11月29日から2019年５月28日まで）

第　22　期　～　第　23　期							
買　　付				売　　付			
銘　　柄	口　数	金　額	平均単価	銘　　柄	口　数	金　額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				US CONCENTRATED CAYMAN AUD CLASS（ケイマン諸島）	350.41526	41,000	117

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等
(1)当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2)ダイワ・マネーストック・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

（2018年11月29日から2019年５月28日まで）

決算期	第　22　期　～　第　23　期					
区　　分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	250	250	100.0	—	—	—
コール・ローン	5,385,605	—	—	—	—	—

平均保有割合0.0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3)当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表
(1)ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第　23　期　末		
	口　数	評価額	比　率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） US CONCENTRATED CAYMAN AUD CLASS	1,736.37305	194,320	95.6

（注１）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注２）評価額の単位未満は切捨て。

(2)親投資信託残高

種　　類	第21期末	第　23　期　末	
	口　数	口　数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	200	200	201

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年５月28日現在

項　　目	第　23　期　末	
	評　価　額	比　　率
	千円	%
投資信託受益証券	194, 320	95. 3
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	201	0. 1
コール・ローン等、その他	9, 470	4. 6
投資信託財産総額	203, 992	100. 0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2019年２月28日）、（2019年５月28日）現在

項　　目	第22期末	第23期末
(A)資産	**250, 282, 500円**	**203, 992, 483円**
コール・ローン等	3, 125, 323	9, 470, 281
投資信託受益証券（評価額）	246, 955, 915	194, 320, 980
ダイワ・マネーストック・マザーファンド（評価額）	201, 262	201, 222
(B)負債	**720, 989**	**702, 311**
未払信託報酬	716, 257	692, 860
その他未払費用	4, 732	9, 451
(C)純資産総額（A－B）	**249, 561, 511**	**203, 290, 172**
元本	251, 326, 370	219, 533, 086
次期繰越損益金	△ 1, 764, 859	△ 16, 242, 914
(D)受益権総口数	**251, 326, 370口**	**219, 533, 086口**
1万口当り基準価額（C／D）	**9, 930円**	**9, 260円**

＊第21期末における元本額は254, 245, 237円、当作成期間（第22期～第23期）中における追加設定元本額は111, 064円、同解約元本額は34, 823, 215円です。
＊第23期末の計算口数当りの純資産額は9, 260円です。
＊第23期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は16, 242, 914円です。

■損益の状況

第22期　自 2018年11月29日　至 2019年２月28日
第23期　自 2019年３月１日　至 2019年５月28日

項　　目	第22期	第23期
(A)配当等収益	**472, 535円**	**169, 143円**
受取配当金	472, 852	169, 610
受取利息	2	13
支払利息	△ 319	△ 480
(B)有価証券売買損益	**10, 008, 443**	**△ 14, 172, 636**
売買益	10, 080, 374	897, 573
売買損	△ 71, 931	△ 15, 070, 209
(C)信託報酬等	**△ 721, 310**	**△ 697, 685**
(D)当期損益金（A＋B＋C）	**9, 759, 668**	**△ 14, 701, 178**
(E)前期繰越損益金	**△ 13, 980, 106**	**△ 3, 686, 115**
(F)追加信託差損益金	**2, 455, 579**	**2, 144, 379**
（配当等相当額）	(11, 727, 420)	(10, 245, 043)
（売買損益相当額）	(△ 9, 271, 841)	(△ 8, 100, 664)
(G)合計（D＋E＋F）	**△ 1, 764, 859**	**△ 16, 242, 914**
次期繰越損益金（G）	**△ 1, 764, 859**	**△ 16, 242, 914**
追加信託差損益金	2, 455, 579	2, 144, 379
（配当等相当額）	(11, 727, 420)	(10, 245, 043)
（売買損益相当額）	(△ 9, 271, 841)	(△ 8, 100, 664)
分配準備積立金	11, 763, 444	10, 274, 146
繰越損益金	△ 15, 983, 882	△ 28, 661, 439

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	第22期	第23期
(a) 経費控除後の配当等収益	439, 990円	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	11, 727, 420	10, 245, 043
(d) 分配準備積立金	11, 323, 454	10, 274, 146
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	23, 490, 864	20, 519, 189
(f) 分配金	0	0
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	23, 490, 864	20, 519, 189
(h) 受益権総口数	251, 326, 370口	219, 533, 086口

当ファンドは少額投資非課税制度「ＮＩＳＡ（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアＮＩＳＡ」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ブラジル・レアル・コース

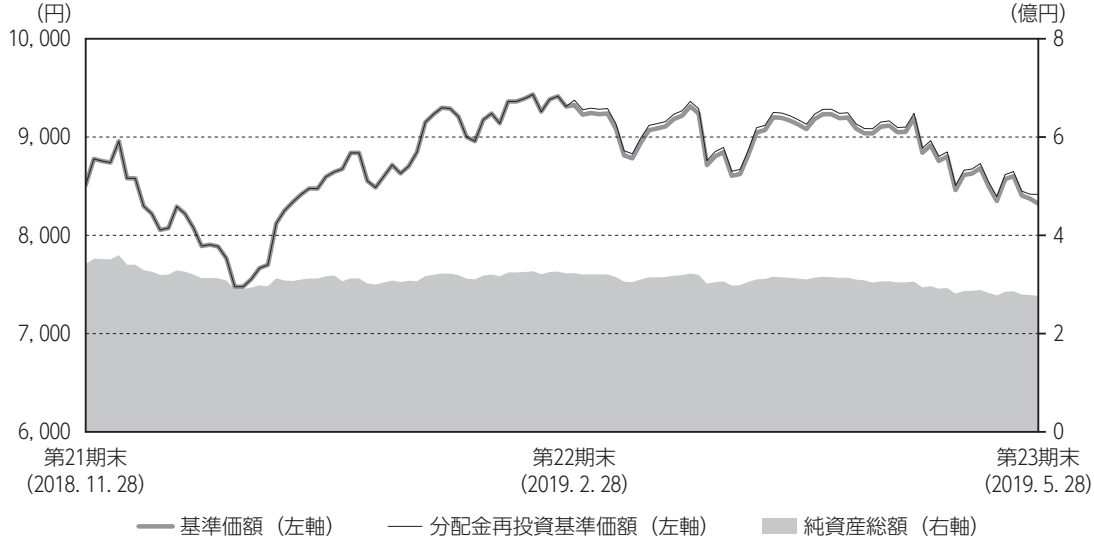
最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S＆P500指数（米ドルベース）		ブラジル・レアル為替レート		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
14期末（2017年２月28日）	10,518	300	22.1	14,396	7.1	36.16	10.0	0.0	97.3	1,000
15期末（2017年５月29日）	10,098	220	△ 1.9	14,676	1.9	34.15	△ 5.6	0.0	96.5	952
16期末（2017年８月28日）	10,483	300	6.8	14,842	1.1	34.53	1.1	—	97.4	800
17期末（2017年11月28日）	10,476	300	2.8	15,804	6.5	34.41	△ 0.3	—	97.8	725
18期末（2018年２月28日）	10,440	300	2.5	16,672	5.5	33.02	△ 4.0	0.0	97.8	686
19期末（2018年５月28日）	9,070	70	△ 12.5	16,532	△ 0.8	29.98	△ 9.2	—	98.6	477
20期末（2018年８月28日）	8,814	90	△ 1.8	17,598	6.4	27.24	△ 9.1	—	98.5	409
21期末（2018年11月28日）	8,513	60	△ 2.7	16,294	△ 7.4	29.35	7.7	—	98.4	341
22期末（2019年２月28日）	9,326	50	10.1	16,964	4.1	29.72	1.3	—	97.7	323
23期末（2019年５月28日）	8,322	50	△ 10.2	17,169	1.2	27.11	△ 8.8	—	97.4	276

（注１）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注２）Ｓ＆Ｐ500指数（米ドルベース）は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。Ｓ＆Ｐ500指数（米ドルベース）の所有権およびその他一切の権利は、Ｓ＆Ｐ Dow Jones Indices LLC が有しています。Ｓ＆Ｐ Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
（注３）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注４）為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。
（注５）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
（注６）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注７）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

運用経過

基準価額等の推移について



＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第22期首：8,513円
第23期末：8,322円（既払分配金100円）
騰 落 率：△1.1%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

米国株式市況が上昇したことなどがプラス要因となった一方、ブラジル・レアルが対円で下落したことなどがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド －イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型　ブラジル・レアル・コース

	年　月　日	基準価額		S＆P500指数（米ドルベース）		ブラジル・レアル為替レート		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率
			騰落率	（参考指数）	騰落率	（参考指数）	騰落率		
		円	%		%	円	%	%	%
第22期	（期首）2018年11月28日	8,513	—	16,294	—	29.35	—	—	98.4
	11月末	8,756	2.9	16,632	2.1	29.44	0.3	—	98.3
	12月末	7,667	△ 9.9	15,120	△ 7.2	28.59	△ 2.6	—	96.5
	2019年1月末	8,847	3.9	16,288	△ 0.0	29.59	0.8	—	98.6
	（期末）2019年2月28日	9,376	10.1	16,964	4.1	29.72	1.3	—	97.7
第23期	（期首）2019年2月28日	9,326	—	16,964	—	29.72	—	—	97.7
	3月末	8,624	△ 7.5	17,104	0.8	28.42	△ 4.4	—	97.8
	4月末	9,053	△ 2.9	17,777	4.8	28.25	△ 4.9	—	97.5
	（期末）2019年5月28日	8,372	△10.2	17,169	1.2	27.11	△ 8.8	—	97.4

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2018. 11. 29 ～ 2019. 5. 28）

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首から2018年12月にかけて、世界的な景気減速懸念や米国の政府機関が一部閉鎖されたことなどを受けて下落しました。2019年に入ると、ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）が今後の利上げについて慎重な姿勢を示したことや米中通商協議の進展期待などが支援材料となり、４月にかけて上昇基調で推移しました。しかし５月以降は、米中貿易摩擦の長期化懸念などから、当作成期末にかけて下落基調で推移しました。

■為替相場

ブラジル・レアルは対円で下落しました。

ブラジル・レアル対円為替相場は、ボルソナロ新政権に対する改革期待を受けて上昇する局面もありましたが、年金改革法案の審議が当初想定されていたスピードで進展していないことや、米国の利下げ期待が後退したことで新興国通貨全般が売られたことなどから、下落しました。

■短期金利市況

ブラジル中央銀行は、政策金利を6. 50％で据え置きました。

米国では、2018年12月に利上げを実施し、政策金利の誘導目標レンジを2. 00～2. 25％から2. 25～2. 50％に引き上げました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

今後も、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）：ダイワ・プレミアム・トラスト－ ダイワ／ハリス ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

ポートフォリオについて

（2018. 11. 29 ～ 2019. 5. 28）

■当ファンド

当ファンドは、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）への投資割合は、信託財産の純資産総額の95％程度以上とすることをめざしました。

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）

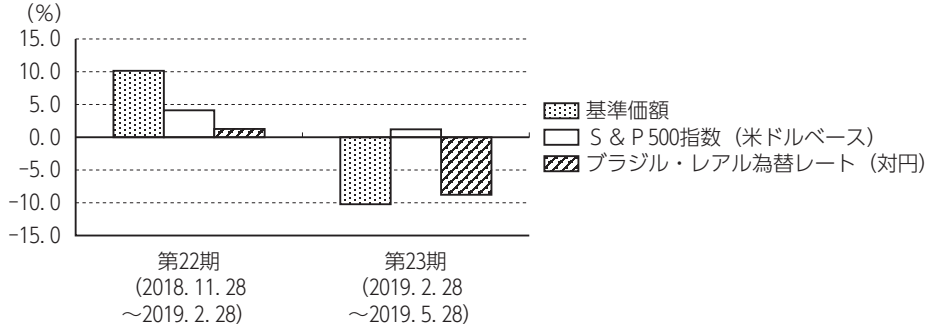
ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）の受益証券においては、株式組入比率をおおむね90％以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。引き続き、財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、コミュニケーション・サービスや金融を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET（コミュニケーション・サービス）、HILTON WORLDWIDE HOLDINGS（一般消費財・サービス）、CHARTER COMMUNICATIONS（コミュニケーション・サービス）などを高位で組み入れました。また、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行いました。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の１万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。
収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項　　目			第22期 2018年11月29日 ～2019年２月28日	第23期 2019年３月１日 ～2019年５月28日
当期分配金（税込み）		**(円)**	**50**	**50**
	対基準価額比率	(%)	0.53	0.60
	当期の収益	(円)	50	50
	当期の収益以外	(円)	—	—
翌期繰越分配対象額		(円)	2,958	2,976

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項　　目	第22期	第23期
（a）経費控除後の配当等収益	✓ 84.05円	✓ 67.67円
（b）経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00
（c）収益調整金	1,934.86	1,935.96
（d）分配準備積立金	989.73	1,022.68
（e）当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	3,008.65	3,026.32
（f）分配金	50.00	50.00
（g）翌期繰越分配対象額（e－f）	2,958.65	2,976.32

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

今後も、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項　目	第22期～第23期 (2018. 11. 29～2019. 5. 28)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信託報酬	53円	0. 602%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は8, 784円です。**
(投信会社)	(19)	(0. 214)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販売会社)	(33)	(0. 375)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合　計	53	0. 606	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。
(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

（2018年11月29日から2019年５月28日まで）

決　算　期	第　22　期　～　第　23　期			
	買　付		売　付	
	口　数	金　額	口　数	金　額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	72. 0883	6, 170	784. 76265	65, 000

（注１）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注２）金額は受渡し代金。
（注３）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

（2018年11月29日から2019年５月28日まで）

第　22　期　～　第　23　期							
買　付				売　付			
銘　柄	口　数	金　額	平均単価	銘　柄	口　数	金　額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				US CONCENTRATED CAYMAN BRL CLASS（ケイマン諸島）	784. 76265	65, 000	82

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等
(1)当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2)ダイワ・マネーストック・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

（2018年11月29日から2019年５月28日まで）

決 算 期	第　22　期　～　第　23　期					
区　分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	250	250	100. 0	—	—	—
コール・ローン	5, 385, 605	—	—	—	—	—

平均保有割合0. 0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3)当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表
(1)ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第　23　期　末		
	口　数	評価額	比　率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） US CONCENTRATED CAYMAN BRL CLASS	3, 342. 15874	269, 561	97. 4

（注１）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注２）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種　　類	第21期末	第 23 期 末	
	口　数	口　数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	300	300	300

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年５月28日現在

項　　目	第 23 期 末	
	評 価 額	比　率
	千円	%
投資信託受益証券	269, 561	96. 5
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	300	0. 1
コール・ローン等、その他	9, 510	3. 4
投資信託財産総額	279, 372	100. 0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2019年２月28日）、（2019年５月28日）現在

項　　目	第22期末	第23期末
(A) 資産	**325, 835, 962円**	**279, 372, 940円**
コール・ローン等	9, 749, 417	9, 510, 314
投資信託受益証券（評価額）	315, 785, 672	269, 561, 813
ダイワ・マネーストック・マザーファンド（評価額）	300, 873	300, 813
(B) 負債	**2, 707, 957**	**2, 579, 921**
未払収益分配金	1, 732, 460	1, 662, 943
未払解約金	1, 228	—
未払信託報酬	967, 837	904, 425
その他未払費用	6, 432	12, 553
(C) 純資産総額（A－B）	**323, 128, 005**	**276, 793, 019**
元本	346, 492, 163	332, 588, 615
次期繰越損益金	△ 23, 364, 158	△ 55, 795, 596
(D) 受益権総口数	**346, 492, 163口**	**332, 588, 615口**
1万口当り基準価額（C／D）	**9, 326円**	**8, 322円**

＊第21期末における元本額は400, 959, 949円、当作成期間（第22期～第23期）中における追加設定元本額は981, 071円、同解約元本額は69, 352, 405円です。
＊第23期末の計算口数当りの純資産額は8, 322円です。
＊第23期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は55, 795, 596円です。

■損益の状況

第22期　自 2018年11月29日　至 2019年２月28日
第23期　自 2019年３月１日　至 2019年５月28日

項　　目	第22期	第23期
(A) 配当等収益	**3, 007, 471円**	**3, 161, 637円**
受取配当金	3, 008, 022	3, 162, 493
受取利息	21	19
支払利息	△ 572	△ 875
(B) 有価証券売買損益	**27, 860, 382**	**△ 33, 955, 652**
売買益	29, 842, 422	405, 667
売買損	△ 1, 982, 040	△ 34, 361, 319
(C) 信託報酬等	**△ 974, 905**	**△ 910, 798**
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	**29, 892, 948**	**△ 31, 704, 813**
(E) 前期繰越損益金	**△ 60, 788, 065**	**△ 31, 284, 635**
(F) 追加信託差損益金	**9, 263, 419**	**8, 856, 795**
（配当等相当額）	(67, 041, 467)	(64, 387, 973)
（売買損益相当額）	(△ 57, 778, 048)	(△ 55, 531, 178)
(G) 合計（D＋E＋F）	**△ 21, 631, 698**	**△ 54, 132, 653**
(H) 収益分配金	**△ 1, 732, 460**	**△ 1, 662, 943**
次期繰越損益金（G＋H）	**△ 23, 364, 158**	**△ 55, 795, 596**
追加信託差損益金	9, 263, 419	8, 856, 795
（配当等相当額）	(67, 041, 467)	(64, 387, 973)
（売買損益相当額）	(△ 57, 778, 048)	(△ 55, 531, 178)
分配準備積立金	35, 473, 580	34, 601, 364
繰越損益金	△ 68, 101, 157	△ 99, 253, 755

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	第22期	第23期
(a) 経費控除後の配当等収益	2, 912, 490円	2, 250, 808円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	67, 041, 467	64, 387, 973
(d) 分配準備積立金	34, 293, 550	34, 013, 499
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	104, 247, 507	100, 652, 280
(f) 分配金	1, 732, 460	1, 662, 943
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	102, 515, 047	98, 989, 337
(h) 受益権総口数	346, 492, 163口	332, 588, 615口

収益分配金のお知らせ		
1万口当り分配金	第22期	第23期
	50円	50円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
・普通分配金については、20.315％（所得税15％、復興特別所得税0.315％および地方税５％）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
・法人の受益者の場合、税率が異なります。
・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「ＮＩＳＡ（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアＮＩＳＡ」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

米ドル・コース

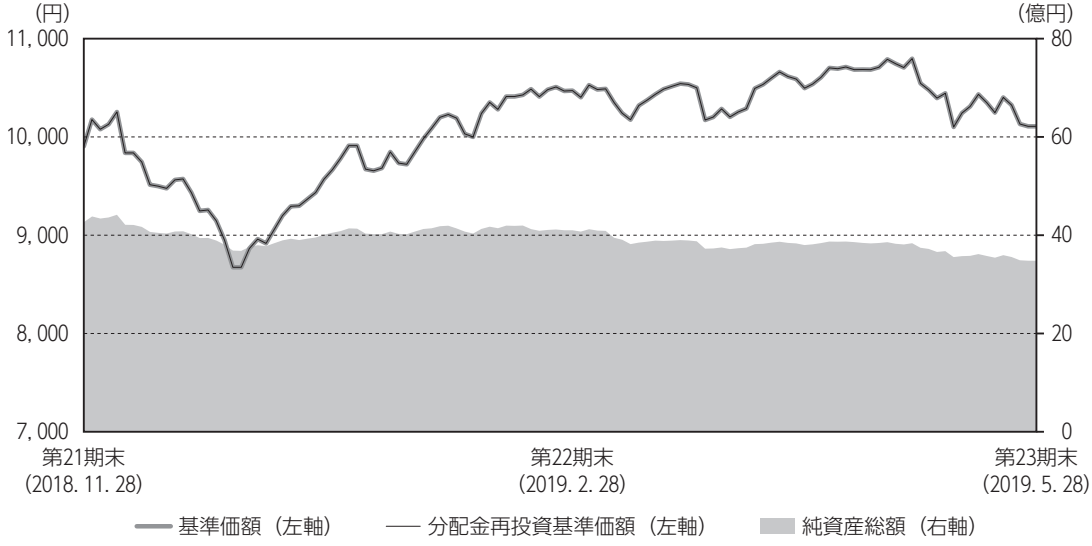
最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S＆P500指数（円換算）		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
14期末（2017年２月28日）	11,205	400	8.8	16,584	7.4	0.0	98.4	6,453
15期末（2017年５月29日）	10,935	350	0.7	16,724	0.8	0.0	97.8	5,874
16期末（2017年８月28日）	10,716	350	1.2	16,573	△ 0.9	—	97.9	5,145
17期末（2017年11月28日）	10,792	350	4.0	17,953	8.3	—	97.7	4,840
18期末（2018年２月28日）	10,765	350	3.0	18,320	2.0	0.0	97.8	4,747
19期末（2018年５月28日）	10,229	300	△ 2.2	18,532	1.2	—	98.3	4,489
20期末（2018年８月28日）	10,728	300	7.8	20,033	8.1	—	98.1	4,708
21期末（2018年11月28日）	9,904	0	△ 7.7	18,976	△ 5.3	—	95.9	4,264
22期末（2019年２月28日）	10,471	0	5.7	19,249	1.4	—	95.7	4,100
23期末（2019年５月28日）	10,108	0	△ 3.5	19,253	0.0	—	95.3	3,480

（注１）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注２）Ｓ＆Ｐ500指数（円換算）は、Ｓ＆Ｐ500指数（米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。Ｓ＆Ｐ500指数（米ドルベース）の所有権およびその他一切の権利は、Ｓ＆Ｐ Dow Jones Indices LLC が有しています。Ｓ＆Ｐ Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
（注３）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注４）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
（注５）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注６）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

運用経過

基準価額等の推移について



＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第22期首：　9,904円
第23期末：10,108円（既払分配金 0 円）
騰　落　率：2.1%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

米国株式市況が上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。一方、米ドルが対円で下落したことなどがマイナス要因となり、基準価額の上昇を抑制しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

	年　月　日	基準価額		S＆P500指数(円換算)		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率
			騰落率	(参考指数)	騰落率		
		円	%		%	%	%
第22期	(期首)2018年11月28日	9,904	—	18,976	—	—	95.9
	11月末	10,078	1.8	19,315	1.8	—	95.9
	12月末	8,961	△ 9.5	17,176	△ 9.5	—	98.8
	2019年1月末	9,852	△ 0.5	18,163	△ 4.3	—	98.9
	(期末)2019年2月28日	10,471	5.7	19,249	1.4	—	95.7
第23期	(期首)2019年2月28日	10,471	—	19,249	—	—	95.7
	3月末	10,254	△ 2.1	19,429	0.9	—	99.0
	4月末	10,707	2.3	20,349	5.7	—	98.8
	(期末)2019年5月28日	10,108	△ 3.5	19,253	0.0	—	95.3

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2018. 11. 29 ～ 2019. 5. 28）

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首から2018年12月にかけて、世界的な景気減速懸念や米国の政府機関が一部閉鎖されたことなどを受けて下落しました。2019年に入ると、ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）が今後の利上げについて慎重な姿勢を示したことや米中通商協議の進展期待などが支援材料となり、４月にかけて上昇基調で推移しました。しかし５月以降は、米中貿易摩擦の長期化懸念などから、当作成期末にかけて下落基調で推移しました。

■為替相場

米ドルは対円で下落しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首から2018年12月にかけて、株価や原油価格の下落から市場のリスク回避姿勢が強まり、下落しました。2019年に入ると、ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）が景気に配慮した金融政策を行うとの期待が市場で高まり市場のリスク選好姿勢が回復したことなどから上昇しましたが、当作成期末にかけては、米中貿易摩擦の長期化懸念などから下落しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

今後も、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）：ダイワ・プレミアム・トラスト－ダイワ／ハリス ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

ポートフォリオについて

（2018. 11. 29 ～ 2019. 5. 28）

■当ファンド

当ファンドは、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）への投資割合は、信託財産の純資産総額の95％程度以上とすることをめざしました。

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）

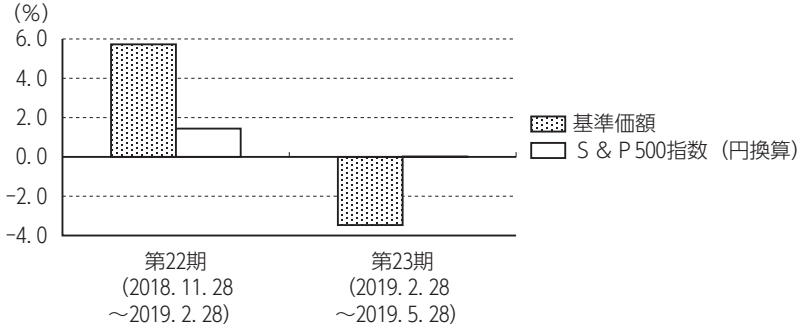
ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）の受益証券においては、株式組入比率をおおむね90％以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。引き続き、財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、コミュニケーション・サービスや金融を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET（コミュニケーション・サービス）、HILTON WORLDWIDE HOLDINGS（一般消費財・サービス）、CHARTER COMMUNICATIONS（コミュニケーション・サービス）などを高位で組み入れました。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、分配方針通り、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項　　目		第22期 2018年11月29日 〜2019年２月28日	第23期 2019年３月１日 〜2019年５月28日
当期分配金（税込み）	**(円)**	**—**	**—**
対基準価額比率	(%)	—	—
当期の収益	(円)	—	—
当期の収益以外	(円)	—	—
翌期繰越分配対象額	(円)	874	874

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■当ファンド

今後も、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項　　目	第22期～第23期 (2018. 11. 29～2019. 5. 28)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	61円	0. 602%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は10, 110円です。**
（投 信 会 社）	(22)	(0. 214)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(38)	(0. 375)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ　の　他）	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合　　計	61	0. 606	

（注１）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注２）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
（注４）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2018年11月29日から2019年５月28日まで)

決　算　期	第　22　期　～　第　23　期			
	買　　付		売　　付	
	口　　数	金　　額	口　　数	金　　額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	1, 468. 56631	232, 694	6, 799. 52164	1, 100, 000

(注１) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注２) 金額は受渡し代金。
(注３) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2018年11月29日から2019年５月28日まで)

第　22　期　～　第　23　期							
買　　付				売　　付			
銘　　柄	口　数	金　額	平均単価	銘　　柄	口　数	金　額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
US CONCENTRATED CAYMAN USD CLASS（ケイマン諸島）	1, 328. 15105	210, 000	158	US CONCENTRATED CAYMAN USD CLASS（ケイマン諸島）	6, 799. 52164	1, 100, 000	161

(注１) 金額は受渡し代金。
(注２) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等
(1) 当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネーストック・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2018年11月29日から2019年５月28日まで)

決 算 期	第　22　期　～　第　23　期					
区　　分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況 D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	250	250	100. 0	—	—	—
コール・ローン	5, 385, 605	—	—	—	—	—

平均保有割合0. 0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表
(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第　23　期　末		
	口　数	評価額	比　率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） US CONCENTRATED CAYMAN USD CLASS	20, 860. 46985	3, 318, 462	95. 3

(注１) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注２) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種　　類	第21期末	第　23　期　末	
	口　数	口　数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	1, 999	1, 999	2, 002

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年５月28日現在

項　　目	第　23　期　末	
	評　価　額	比　　率
	千円	%
投資信託受益証券	3, 318, 462	95. 0
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	2, 002	0. 1
コール・ローン等、その他	172, 953	4. 9
投資信託財産総額	3, 493, 418	100. 0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2019年２月28日）、（2019年５月28日）現在

項　　目	第22期末	第23期末
（A）資産	**4, 114, 438, 889円**	**3, 493, 418, 896円**
コール・ローン等	187, 975, 810	172, 953, 438
投資信託受益証券（評価額）	3, 924, 459, 904	3, 318, 462, 683
ダイワ・マネーストック・マザーファンド（評価額）	2, 003, 175	2, 002, 775
（B）負債	**13, 989, 586**	**13, 059, 422**
未払解約金	1, 543, 930	1, 637, 478
未払信託報酬	12, 363, 122	11, 263, 151
その他未払費用	82, 534	158, 793
（C）純資産総額（A－B）	**4, 100, 449, 303**	**3, 480, 359, 474**
元本	3, 915, 962, 836	3, 443, 152, 444
次期繰越損益金	184, 486, 467	37, 207, 030
（D）受益権総口数	**3, 915, 962, 836口**	**3, 443, 152, 444口**
1万口当り基準価額（C／D）	**10, 471円**	**10, 108円**

＊第21期末における元本額は4, 305, 790, 053円、当作成期間（第22期～第23期）中における追加設定元本額は8, 373, 579円、同解約元本額は871, 011, 188円です。
＊第23期末の計算口数当りの純資産額は10, 108円です。

■損益の状況

第22期　自 2018年11月29日　至 2019年２月28日
第23期　自 2019年３月１日　至 2019年５月28日

項　　目	第22期	第23期
（A）配当等収益	**12, 778, 588円**	**9, 822, 245円**
受取配当金	12, 786, 873	9, 830, 234
受取利息	289	321
支払利息	△　8, 574	△　8, 310
（B）有価証券売買損益	**221, 889, 376**	**△　123, 489, 561**
売買益	237, 062, 354	6, 952, 507
売買損	△　15, 172, 978	△　130, 442, 068
（C）信託報酬等	**△　12, 454, 562**	**△　11, 341, 173**
（D）当期損益金（A＋B＋C）	**222, 213, 402**	**△　125, 008, 489**
（E）前期繰越損益金	**△　220, 211, 956**	**1, 759, 342**
（F）追加信託差損益金	**182, 485, 021**	**160, 456, 177**
（配当等相当額）	(　230, 495, 327)	(　202, 691, 075)
（売買損益相当額）	(△　48, 010, 306)	(△　42, 234, 898)
（G）合計（D＋E＋F）	**184, 486, 467**	**37, 207, 030**
次期繰越損益金（G）	**184, 486, 467**	**37, 207, 030**
追加信託差損益金	182, 485, 021	160, 456, 177
（配当等相当額）	(　230, 495, 327)	(　202, 691, 075)
（売買損益相当額）	(△　48, 010, 306)	(△　42, 234, 898)
分配準備積立金	112, 083, 558	98, 525, 312
繰越損益金	△　110, 082, 112	△　221, 774, 459

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	第22期	第23期
（a）経費控除後の配当等収益	12, 099, 603円	0円
（b）経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
（c）収益調整金	230, 495, 327	202, 691, 075
（d）分配準備積立金	99, 983, 955	98, 525, 312
（e）当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	342, 578, 885	301, 216, 387
（f）分配金	0	0
（g）翌期繰越分配対象額（e－f）	342, 578, 885	301, 216, 387
（h）受益権総口数	3, 915, 962, 836口	3, 443, 152, 444口

当ファンドは少額投資非課税制度「ＮＩＳＡ（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアＮＩＳＡ」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

通貨セレクト・コース

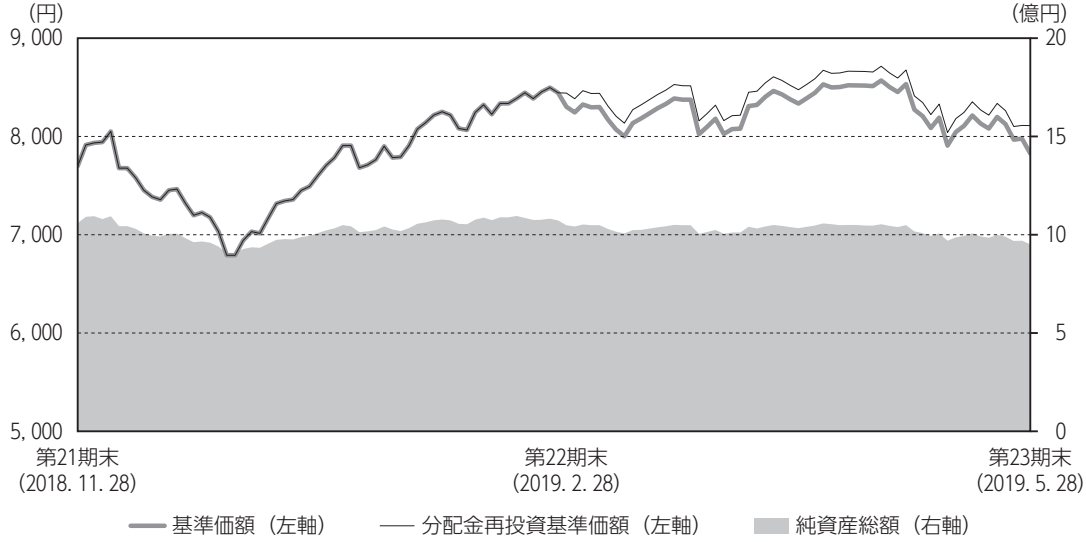
最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S＆P500指数（米ドルベース）		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
14期末（2017年２月28日）	8,677	160	15.4	14,396	7.1	0.0	94.7	2,042
15期末（2017年５月29日）	8,763	130	2.5	14,676	1.9	0.0	95.0	1,784
16期末（2017年８月28日）	8,941	140	3.6	14,842	1.1	—	98.6	1,657
17期末（2017年11月28日）	8,964	130	1.7	15,804	6.5	—	98.3	1,497
18期末（2018年２月28日）	9,309	120	5.2	16,672	5.5	0.0	98.5	1,481
19期末（2018年５月28日）	8,303	100	△ 9.7	16,532	△ 0.8	—	98.8	1,239
20期末（2018年８月28日）	8,264	140	1.2	17,598	6.4	—	98.8	1,168
21期末（2018年11月28日）	7,700	140	△ 5.1	16,294	△ 7.4	—	98.7	1,059
22期末（2019年２月28日）	8,302	140	9.6	16,964	4.1	—	98.8	1,048
23期末（2019年５月28日）	7,827	150	△ 3.9	17,169	1.2	—	98.7	951

（注１）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注２）Ｓ＆Ｐ500指数（米ドルベース）は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。Ｓ＆Ｐ500指数（米ドルベース）の所有権およびその他一切の権利は、Ｓ＆Ｐ Dow Jones Indices LLC が有しています。Ｓ＆Ｐ Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
（注３）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注４）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
（注５）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注６）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

運用経過

基準価額等の推移について



＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第22期首：7,700円
第23期末：7,827円（既払分配金290円）
騰　落　率：5.3%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

米国株式市況が上昇したことや米ドル売り／選定通貨買いの為替取引によるヘッジプレミアム（金利差相当分の収益）などがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。一方、為替相場において一部の選定通貨が対円で下落したことなどがマイナス要因となり、基準価額の上昇を抑制しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

	年　月　日	基準価額		S＆P500指数(米ドルベース)		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率
			騰落率	(参考指数)	騰落率		
		円	%		%	%	%
第22期	(期首)2018年11月28日	7,700	—	16,294	—	—	98.7
	11月末	7,934	3.0	16,632	2.1	—	96.7
	12月末	7,031	△ 8.7	15,120	△ 7.2	—	99.0
	2019年1月末	7,907	2.7	16,288	△ 0.0	—	98.1
	(期末)2019年2月28日	8,442	9.6	16,964	4.1	—	98.8
第23期	(期首)2019年2月28日	8,302	—	16,964	—	—	98.8
	3月末	8,076	△ 2.7	17,104	0.8	—	98.7
	4月末	8,452	1.8	17,777	4.8	—	98.7
	(期末)2019年5月28日	7,977	△ 3.9	17,169	1.2	—	98.7

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2018. 11. 29 ～ 2019. 5. 28）

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首から2018年12月にかけて、世界的な景気減速懸念や米国の政府機関が一部閉鎖されたことなどを受けて下落しました。2019年に入ると、ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）が今後の利上げについて慎重な姿勢を示したことや米中通商協議の進展期待などが支援材料となり、４月にかけて上昇基調で推移しました。しかし５月以降は、米中貿易摩擦の長期化懸念などから、当作成期末にかけて下落基調で推移しました。

■為替相場

選定通貨（※）は対円でおおむね下落しました。

当作成期首から2019年１月前半にかけては、世界的に株価が下落し市場のリスク回避姿勢が強まったことで、選定通貨は対円でおおむね下落しました。しかしその後は、米国の金融引き締め姿勢の後退から市場のリスク回避姿勢が和らいだことを受け、選定通貨は対円でおおむね上昇しました。５月に入ると、米中貿易摩擦への懸念が高まったことなどから、選定通貨は対円で再び下落しました。

当作成期における選定通貨の値動きは、インドネシア・ルピア、インド・ルピー、トルコ・リラ、中国・人民元、フィリピン・ペソは対円で下落しました。一方、メキシコ・ペソ、ロシア・ルーブルは対円で上昇しました。

※選定通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。

■短期金利市況

選定通貨の短期金利は、高い経済成長率やインフレ率を背景に米ドルの短期金利をおおむね上回って推移しました。

米国では、2018年12月に利上げを実施し、政策金利の誘導目標レンジを2. 00～2. 25％から2. 25～2. 50％に引き上げました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

今後も、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）：ダイワ・プレミアム・トラスト－ ダイワ／ハリス ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を行います。

大和証券投資信託委託株式会社が通貨の選定および配分比率について助言を行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

ポートフォリオについて

（2018. 11. 29 ～ 2019. 5. 28）

■当ファンド

当ファンドは、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）への投資割合は、信託財産の純資産総額の95％程度以上とすることをめざしました。

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）

ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）の受益証券においては、株式組入比率をおおむね90％以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。引き続き、財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、

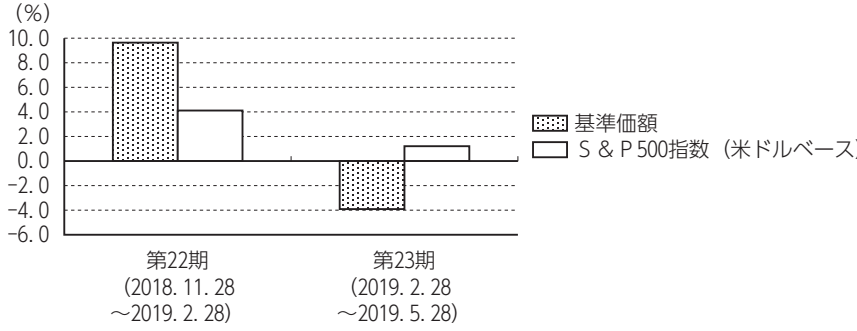
企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、コミュニケーション・サービスや金融を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET（コミュニケーション・サービス）、HILTON WORLDWIDE HOLDINGS（一般消費財・サービス）、CHARTER COMMUNICATIONS（コミュニケーション・サービス）などを高位で組み入れました。また、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を行いました。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の１万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。
収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項　　目			第22期 2018年11月29日 ～2019年２月28日	第23期 2019年３月１日 ～2019年５月28日
当期分配金（税込み）		**（円）**	**140**	**150**
	対基準価額比率	（％）	1.66	1.88
	当期の収益	（円）	140	150
	当期の収益以外	（円）	―	―
翌期繰越分配対象額		（円）	2,207	2,226

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項　　目	第22期	第23期
（ａ）経費控除後の配当等収益	✓　158.55円	✓　169.51円
（ｂ）経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00
（ｃ）収益調整金	187.48	197.45
（ｄ）分配準備積立金	2,001.32	2,009.91
（ｅ）当期分配対象額（ａ＋ｂ＋ｃ＋ｄ）	2,347.36	2,376.88
（ｆ）分配金	140.00	150.00
（ｇ）翌期繰越分配対象額（ｅ－ｆ）	2,207.36	2,226.88

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

今後も、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を行います。

大和証券投資信託委託株式会社が通貨の選定および配分比率について助言を行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項　　目	第22期～第23期 (2018. 11. 29～2019. 5. 28)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	48円	0. 602%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は8, 008円です。**
（投 信 会 社）	(17)	(0. 214)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(30)	(0. 375)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ　の　他）	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合　　計	49	0. 606	

（注１）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注２）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
（注４）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

（2018年11月29日から2019年５月28日まで）

決算期	第22期～第23期			
	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	578.72171	45,166	2,160.25823	170,000

（注１）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注２）金額は受渡し代金。
（注３）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

（2018年11月29日から2019年５月28日まで）

第22期～第23期							
買付				売付			
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				US CONCENTRATED CAYMAN CS CLASS（ケイマン諸島）	2,160.25823	170,000	78

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等
(1)当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2)ダイワ・マネーストック・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

（2018年11月29日から2019年５月28日まで）

決算期	第22期～第23期					
区分	買付額等A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	250	250	100.0	—	—	—
コール・ローン	5,385,605	—	—	—	—	—

平均保有割合0.0％
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3)当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表
(1)ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第23期末		
	口数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） US CONCENTRATED CAYMAN CS CLASS	12,285.78969	938,634	98.7

（注１）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注２）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種　　類	第21期末	第23期末	
	口　数	口　数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	505	505	506

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年5月28日現在

項　　目	第23期末	
	評価額	比　率
	千円	%
投資信託受益証券	938,634	96.5
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	506	0.1
コール・ローン等、その他	33,461	3.4
投資信託財産総額	972,602	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2019年2月28日）、（2019年5月28日）現在

項　　目	第22期末	第23期末
(A)資産	**1,077,895,119円**	**972,602,722円**
コール・ローン等	42,307,194	33,461,580
投資信託受益証券（評価額）	1,035,081,014	938,634,332
ダイワ・マネーストック・マザーファンド（評価額）	506,911	506,810
(B)負債	**29,835,558**	**21,315,012**
未払収益分配金	17,673,619	18,229,898
未払解約金	9,021,233	—
未払信託報酬	3,119,862	3,043,831
その他未払費用	20,844	41,283
(C)純資産総額（A－B）	**1,048,059,561**	**951,287,710**
元本	1,262,401,408	1,215,326,534
次期繰越損益金	△ 214,341,847	△ 264,038,824
(D)受益権総口数	**1,262,401,408口**	**1,215,326,534口**
1万口当り基準価額（C／D）	**8,302円**	**7,827円**

＊第21期末における元本額は1,376,203,920円、当作成期間（第22期～第23期）中における追加設定元本額は12,166,505円、同解約元本額は173,043,891円です。
＊第23期末の計算口数当りの純資産額は7,827円です。
＊第23期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は264,038,824円です。

■損益の状況

第22期　自 2018年11月29日　至 2019年2月28日
第23期　自 2019年3月1日　至 2019年5月28日

項　　目	第22期	第23期
(A)配当等収益	**20,687,208円**	**23,666,147円**
受取配当金	20,689,352	23,668,300
受取利息	34	28
支払利息	△ 2,178	△ 2,181
(B)有価証券売買損益	**76,178,512**	**△ 60,046,344**
売買益	80,139,062	738,812
売買損	△ 3,960,550	△ 60,785,156
(C)信託報酬等	**△ 3,142,628**	**△ 3,064,910**
(D)当期損益金（A＋B＋C）	**93,723,092**	**△ 39,445,107**
(E)前期繰越損益金	**△ 287,318,071**	**△ 202,386,460**
(F)追加信託差損益金	**△ 3,073,249**	**△ 3,977,359**
（配当等相当額）	(23,668,183)	(23,997,357)
（売買損益相当額）	(△ 26,741,432)	(△ 27,974,716)
(G)合計（D＋E＋F）	**△ 196,668,228**	**△ 245,808,926**
(H)収益分配金	**△ 17,673,619**	**△ 18,229,898**
次期繰越損益金（G＋H）	**△ 214,341,847**	**△ 264,038,824**
追加信託差損益金	△ 3,073,249	△ 3,977,359
（配当等相当額）	(23,668,183)	(23,997,357)
（売買損益相当額）	(△ 26,741,432)	(△ 27,974,716)
分配準備積立金	254,990,312	246,641,309
繰越損益金	△ 466,258,910	△ 506,702,774

（注1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注3）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	第22期	第23期
(a) 経費控除後の配当等収益	20,015,895円	20,601,176円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	23,668,183	23,997,357
(d) 分配準備積立金	252,648,036	244,270,031
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	296,332,114	288,868,564
(f) 分配金	17,673,619	18,229,898
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	278,658,495	270,638,666
(h) 受益権総口数	1,262,401,408口	1,215,326,534口

収益分配金のお知らせ		
1万口当り分配金	第22期	第23期
	140円	150円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
・普通分配金については、20.315％（所得税15％、復興特別所得税0.315％および地方税５％）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
・法人の受益者の場合、税率が異なります。
・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「ＮＩＳＡ（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアＮＩＳＡ」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／ハリス　US　コンセントレイテッド・ケイマン 日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・レアル・クラス／ 米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス

当ファンド（通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド －イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型　日本円・コース／豪ドル・コース／ブラジル・レアル・コース／米ドル・コース／通貨セレクト・コース）はケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／ハリス　US　コンセントレイテッド・ケイマン　日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・レアル・クラス／米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2019年５月28日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（米ドル建て）

貸借対照表

2018年５月31日

資産		
投資資産の評価額（簿価 $55, 792, 368）	$	61, 856, 672
現金		1, 825
外国為替先渡契約による評価益		122, 478
未収：		
受益証券の発行		92, 000
配当		39, 651
資産合計		62, 112, 626
負債		
外国為替先渡契約による評価損		148, 447
未払：		
専門家報酬		54, 637
運用会社報酬		31, 072
会計および管理会社報酬		5, 930
保管会社報酬		4, 504
為替運用会社報酬		1, 760
為替取引補助会社報酬		428
負債合計		246, 778
純資産	$	61, 865, 848
純資産		
豪ドル・クラス	$	2, 377, 276
ブラジル・レアル・クラス		4, 215, 438
通貨セレクト・クラス		11, 228, 786
日本円・クラス		3, 810, 113
米ドル・クラス		40, 234, 235
	$	61, 865, 848
発行済み受益証券口数		
豪ドル・クラス		2, 151, 919
ブラジル・レアル・クラス		5, 307, 910
通貨セレクト・クラス		14, 942, 991

日本円・クラス		2, 956, 466
米ドル・クラス		28, 196, 450
受益証券１口当り純資産額		
豪ドル・クラス	$	1. 105
ブラジル・レアル・クラス	$	0. 794
通貨セレクト・クラス	$	0. 751
日本円・クラス	$	1. 289
米ドル・クラス	$	1. 427

損益計算書

2018年５月31日に終了した年度

投資収益		
配当収益（源泉税 $261, 116控除後）	$	638, 349
投資収益合計		638, 349
費用		
運用会社報酬		427, 011
専門家報酬		54, 896
会計および管理会社報酬		44, 173
保管会社報酬		31, 259
為替運用会社報酬		25, 157
受託会社報酬		24, 082
名義書換代理人報酬		9, 762
為替取引補助会社報酬		2, 808
登録料		1, 966
費用合計		621, 114
投資純利益		17, 235
実現益（損）および評価益（損）：		
実現益（損）：		
証券投資		13, 457, 628
外国為替取引および外国為替先渡契約		(1, 222, 469)
純実現益		12, 235, 159
評価益（損）の純変動：		
証券投資		(6, 602, 259)
外国為替換算および外国為替先渡契約		308, 533
評価益（損）の純変動		(6, 293, 726)
純実現・純評価益		5, 941, 433
運用による純資産の純増	$	5, 958, 668

（米ドル建て）

投資明細表

2018年５月31日

株数	有価証券の明細	評価額
	普通株（96.1%）	
	米国（96.1%）	
	自動車（5.2%）	
74,845	General Motors Co.	$ 3,195,881
	銀行（10.3%）	
46,035	Citigroup, Inc.	3,070,074
61,285	Wells Fargo & Co.	3,308,777
		6,378,851
	バイオテクノロジー（3.7%）	
7,710	Regeneron Pharmaceuticals, Inc.	2,315,467
	商業サービス（5.5%）	
19,958	Moody's Corp.	3,404,236
	ヘルスケアサービス（8.4%）	
37,045	HCA Healthcare, Inc.	3,820,821
13,705	IQVIA Holdings, Inc.	1,355,836
		5,176,657
	保険（6.8%）	
80,095	American International Group, Inc.	4,228,215
	インターネット（15.7%）	
4,730	Alphabet, Inc. Class C	5,132,003
1,407	Booking Holdings, Inc.	2,967,250
19,855	CDW Corp.	1,589,393
		9,688,646
	宿泊施設（4.2%）	
32,155	Hilton Worldwide Holdings, Inc.	2,595,230
	建設機械・鉱山機械（2.3%）	
9,325	Caterpillar, Inc.	1,416,561
	メディア（10.4%）	
17,594	Charter Communications, Inc. Class A	4,592,738
59,995	Comcast Corp. Class A	1,870,644
		6,463,382
	その他製造（3.1%）	
133,996	General Electric Co.	1,886,664
	石油・ガスサービス（3.9%）	
57,635	National Oilwell Varco, Inc.	2,387,242
	不動産（3.8%）	
50,570	CBRE Group, Inc. Class A	2,335,828
	小売（4.2%）	
37,515	CarMax, Inc.	2,585,534
	ソフトウェア（5.5%）	
73,465	Oracle Corp.	3,432,285
	通信（3.1%）	
66,220	CommScope Holding Co., Inc.	1,941,570
	米国合計（簿価 $53,367,945）	59,432,249
	普通株合計（簿価 $53,367,945）	**59,432,249**

元本	有価証券の明細	純資産に占める割合	評価額
	短期運用（3.9%）		
	フランス（3.9%）		
	定期預金（3.9%）		
	BNP Paribas S.A.		
$ 2,424,423	1.00% due 2018/6/1		$ 2,424,423
	定期預金合計		2,424,423
	フランス合計（簿価 $2,424,423）		2,424,423
	短期運用合計（簿価 $2,424,423）		**2,424,423**
	投資総額（簿価 $55,792,368）	**100.0%**	**$ 61,856,672**
	負債を超過する現金およびその他の資産	**0.0**	**9,176**
	純資産	**100.0%**	**$ 61,865,848**

投資明細表のすべての有価証券は運用会社の最良の判断に基づいて有価証券の所在地ではなく、リスクの所在国によって分類されています。

2018年5月31日現在の豪ドル・クラスの外国為替先渡契約

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価（損）	評価益／（損）
AUD	Citibank N.A.	3,163,816	2018/6/21	USD	2,366,211	$ 27,925	$ –	$ 27,925

2018年5月31日現在のブラジル・レアル・クラスの外国為替先渡契約

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価（損）	評価益／（損）
BRL	Citibank N.A.	16,132,163	2018/6/21	USD	4,382,586	$ –	$ (58,032)	$ (58,032)

2018年5月31日現在の通貨セレクト・クラスの外国為替先渡契約

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価（損）	評価益／（損）
BRL	Citibank N.A.	6,230,527	2018/6/21	USD	1,691,702	$ –	$ (21,481)	$ (21,481)
CNY	Citibank N.A.	10,531,369	2018/6/21	USD	1,649,585	–	(5,401)	(5,401)
IDR	Citibank N.A.	24,607,194,862	2018/6/21	USD	1,735,102	31,447	–	31,447
INR	Citibank N.A.	130,674,838	2018/6/21	USD	1,914,358	18,389	–	18,389
MXN	Citibank N.A.	36,273,437	2018/6/21	USD	1,822,871	–	(15,960)	(15,960)
TRY	Citibank N.A.	10,303,738	2018/6/21	USD	2,302,511	–	(47,573)	(47,573)
						$ 49,836	$ (90,415)	$ (40,579)

2018年5月31日現在の日本円・クラスの外国為替先渡契約

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価（損）	評価益／（損）
JPY	Citibank N.A.	397,187,923	2018/6/21	USD	3,615,333	$ 44,717	$ –	$ 44,717

通貨の略称：

AUD	-	豪ドル
BRL	-	ブラジル・レアル
CNY	-	人民元
IDR	-	インドネシア・ルピア
INR	-	インド・ルピー
JPY	-	日本円
MXN	-	メキシコ・ペソ
TRY	-	トルコ・リラ
USD	-	米ドル

＜補足情報＞

当ファンド（通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド －イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型）が投資対象としている「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」の決算日（2018年12月10日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第23期の決算日（2019年５月28日）現在におけるダイワ・マネーストック・マザーファンドの組入資産の内容等を58ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンドの主要な売買銘柄

公　社　債

（2018年11月29日から2019年５月28日まで）

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
801 国庫短期証券 2019/3/18	250,003		

（注１）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
（注２）単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

2019年５月28日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネーストック・マザーファンド

運用報告書　第９期（決算日　2018年12月10日）

（作成対象期間　2017年12月12日～2018年12月10日）

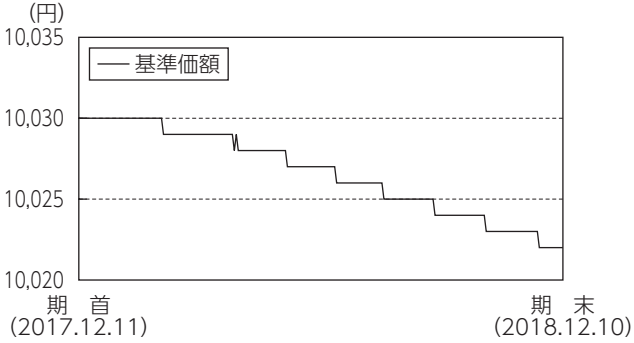
ダイワ・マネーストック・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10％以下

大和投資信託
Daiwa Asset Management
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
http://www.daiwa-am.co.jp/

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年　月　日	基準価額	騰落率	公社債組入比率
	円	%	%
(期首)2017年12月11日	10,030	－	－
12月末	10,030	0.0	－
2018年 1 月末	10,030	0.0	－
2 月末	10,029	△0.0	0.5
3 月末	10,029	△0.0	－
4 月末	10,028	△0.0	－
5 月末	10,027	△0.0	－
6 月末	10,026	△0.0	－
7 月末	10,025	△0.0	－
8 月末	10,025	△0.0	－
9 月末	10,024	△0.1	－
10月末	10,023	△0.1	－
11月末	10,022	△0.1	－
(期末)2018年12月10日	10,022	△0.1	－

（注１）騰落率は期首比。
（注２）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
（注３）当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なっており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,030円　期末：10,022円　騰落率：△0.1％

【基準価額の主な変動要因】

マイナス金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期首より、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持し、2018年７月には金融緩和継続のための枠組み強化を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（３カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■１万口当りの費用の明細

項　目	当　期
売買委託手数料	－円
有価証券取引税	－
その他費用	4
（その他）	(4)
合　計	4

（注１）費用の項目および算出法については前掲の「１万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
（注２）項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公　社　債

（2017年12月12日から2018年12月10日まで）

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	570,003	－ (570,000)

（注１）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
（注２）（　）内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
（注３）単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公　社　債

（2017年12月12日から2018年12月10日まで）

当期			
買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
723 国庫短期証券 2018/3/5	220,001		
757 国庫短期証券 2018/8/13	200,001		
731 国庫短期証券 2018/7/10	150,000		

（注１）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
（注２）単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2018年12月10日現在

項目	当期末 評価額	当期末 比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	41,081,960	100.0
投資信託財産総額	41,081,960	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準額の状況

2018年12月10日現在

項目	当期末
(A) 資産	**41,081,960,031円**
コール・ローン等	41,081,960,031
(B) 負債	**22,652,366**
未払解約金	20,000,000
その他未払費用	2,652,366
(C) 純資産総額(A－B)	**41,059,307,665**
元本	40,969,233,796
次期繰越損益金	90,073,869
(D) 受益権総口数	**40,969,233,796口**
1万口当り基準価額(C／D)	**10,022円**

＊期首における元本額は30,015,878,475円、当作成期間中における追加設定元本額は79,229,641,363円、同解約元本額は68,276,286,042円です。

＊当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド（為替ヘッジあり）3,021,993円、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド（為替ヘッジなし）1,018,149円、ダイワ米国バンクローン・ファンド（為替ヘッジあり）2014－07　9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド（為替ヘッジあり）2014－09　9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド（為替ヘッジあり）2014－11　9,962円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド　－ロボテック－947,268円、ダイワ／ミレーアセット・インド株式ファンド－インドの匠－29,910,270円、ワールド・フィンテック革命ファンド（為替ヘッジあり）998円、ワールド・フィンテック革命ファンド（為替ヘッジなし）998円、新興国ソブリン・豪ドルファンド（毎月決算型）999円、新興国ソブリン・ブラジルレアルファンド（毎月決算型）999円、新興国ソブリン・ファンド（為替ヘッジあり／毎月決算型）999円、ＵＳ短期ハイ・イールド社債ファンド（為替ヘッジあり／毎月決算型）102,434円、ＵＳ短期高利回り社債ファンド（為替ヘッジあり／年１回決算型）1,994円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド　－ロボテック－（為替ヘッジあり）39,849円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年１回決算型）　－ロボテック（年１回）－（為替ヘッジあり）3,985円、iFreeレバレッジ　Ｓ＆Ｐ500　9,976,058円、ダイワ上場投信－日経平均レバレッジ・インデックス6,480,317,774円、ダイワ上場投信－日経平均ダブルインバース・インデックス3,588,745,910円、ダイワ上場投信－ＴＯＰＩＸレバレッジ（２倍）指数1,873,252,277円、ダイワ上場投信－ＴＯＰＩＸダブルインバース（－２倍）指数602,505,046円、ダイワ上場投信－日経平均インバース・インデックス3,957,907,355円、ダイワ上場投信－ＴＯＰＩＸインバース（－１倍）指数3,685,167,742円、ダイワ上場投信－ＪＰＸ日経400レバレッジ・インデックス323,527,433円、ダイワ上場投信－ＪＰＸ日経400インバース・インデックス2,008,932,965円、ダイワ上場投信－ＪＰＸ日経400ダブルインバース・インデックス208,181,200円、ダイワ米国投資法人債ファンド（為替ヘッジあり）2016－07　997円、ダイワ米国投資法人債ファンド（部分為替ヘッジあり）2016－07　997円、ダイワ米国投資法人債ファンド（為替ヘッジあり）2017－06　997円、ダイワ米国投資法人債ファンド（部分為替ヘッジあり）2017－06　997円、ダイワ米国投資法人債ファンド（為替ヘッジあり）2016－10　997円、ダイワ米国投資法人債ファンド（部分為替ヘッジあり）2016－10　997円、ダイワ日本株式ベア・ファンド（適格機関投資家専用）3,619,070,901円、低リスク型アロケーションファンド（金利トレンド判断付き／適格機関投資家専用）199,401,795円、ダイワ日本国債15－20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ　－ＳＬトレード－　56,086,003円、ダイワ／モルガン・スタンレー新興４カ国不動産関連ファンド－成長の槌音（つちおと）－　5,020,480円、ダイワ／ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ168,192,739円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ151,817,656円、低リスク型アロケーションファンド（適格機関投資家専用）13,958,125,625円、通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ　豪ドル・コース（毎月分配型）595,106円、通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ　ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）987,373円、通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ　通貨セレクト・コース（毎月分配型）494,581円、ダイワＵＳ短期ハイ・イールド社債ファンド（為替ヘッジあり／年１回決算型）9,957円、ダイワ米国バンクローン・オープン（為替ヘッジあり）997円、ダイワ米国バンクローン・オープン（為替ヘッジなし）997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）997円、ダイワ／ミレーアセット亜細亜株式ファンド9,958,176円、＜奇数月定額払出型＞ダイワ先進国リートα　為替ヘッジあり49,806円、＜奇数月定額払出型＞ダイワ先進国リートα　為替ヘッジなし49,806円、通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）米ドル・コース1,989,053円、通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）ブラジル・レアル・コース2,978,118円、通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）通貨セレクト・コース1,691,241円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年１回決算型）　－ロボテック（年１回）－　100,588円、ダイワ先進国リートα　為替ヘッジあり（毎月分配型）399,083円、ダイワ先進国リートα　為替ヘッジなし（毎月分配型）99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα　円ヘッジコース（毎月分配型）399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα　通貨セレクトコース（毎月分配型）99,771円、ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド（為替ヘッジあり）1,091,429円、ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド（為替ヘッジなし）315,004円、ダイワ／ミレーアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）　－ジャパン・トリプルリターンズ－　日本円・コース（毎月分配型）398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）　－ジャパン・トリプルリターンズ－　豪ドル・コース（毎月分配型）99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）　－ジャパン・トリプルリターンズ－　ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）　－ジャパン・トリプルリターンズ－　米ドル・コース（毎月分配型）398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）　－ジャパン・トリプルリターンズ－　通貨セレクト・コース（毎月分配型）1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド　－イーグルアイⅡ－　予想分配金提示型　日本円・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド　－イーグルアイⅡ－　予想分配金提示型　豪ドル・コース200,861円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド　－イーグルアイⅡ－　予想分配金提示型　ブラジル・レアル・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド　－イーグルアイⅡ－　予想分配金提示型　米ドル・コース1,999,177円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド　－イーグルアイⅡ－　予想分配金提示型　通貨セレクト・コース505,900円です。

＊当期末の計算口数当りの純資産額は10,022円です。

■損益の状況

当期　自2017年12月12日　至2018年12月10日

項　　目	当　　期
(A) 配当等収益	**△ 21,014,406円**
受取利息	30,196
支払利息	△ 21,044,602
(B) 有価証券売買損益	**△ 2**
売買損	△ 2
(C) その他費用	**△ 16,468,861**
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	**△ 37,483,269**
(E) 前期繰越損益金	**91,400,424**
(F) 解約差損益金	**△184,462,233**
(G) 追加信託差損益金	**220,618,947**
(H) 合計(D＋E＋F＋G)	**90,073,869**
次期繰越損益金(H)	**90,073,869**

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。